

新リビドラ治療法 (ICI: 陰茎海綿体注射) 承諾書

新リビドラ治療法 (以下、ICI) は、男性の勃起不全 (ED) に対し、血管拡張剤であるプロスタグランディンE1や塩酸パペリンを海綿体に注射する一般的な陰茎海綿体注射に対して、プロスタグランディンE1や塩酸パペリンを含めた数種類の薬剤を複合した特殊なカクテルとすることにより、これまでのICIでは最低でも2～3ccは必要であった注射液の量を平均0.15～0.6ccと非常に少ない量に押さえることにより、自己注射時の患者さんの負担を抑えつつ、高い有効率 (95～98%) を達成し、しかも症例毎に注射量の更なる微調整も可能という、これまでに無い画期的な陰茎海綿体注射治療です。

新リビドラ治療法では、医師により調合された液剤を、注射器によりペニスの根元から約2～4cm程度亀頭側で、背側1～2時または10～11時の方向付近で陰茎海綿体に自己注射を行います。この時、約3分程度注射部位を押さえ止血を行うとともに、薬剤が十分吸収されるようにマッサージを行います。2回目以降はできるだけ部位を変更します。他のED治療内服薬等との併用はおやめください。

抗血小板薬、抗凝固薬等を内服中の場合は、状態に応じて圧迫止血時間を延ばして頂きます。

新リビドラ治療法により、どのような効果が期待できるか、また期待できないかを予め知るとともに、新リビドラ治療法に関連する潜在的な危険性を予め確認しておくことが大切です。

新リビドラ治療法を受ける前に、以下の事項を熟読し確認してください。

- ◇ 私は、担当医師から新リビドラ治療法についての詳しい説明を受けました。
- ◇ 私は、より効果的な結果を得る為にも担当医師の方針に従って新リビドラ治療法を受けねばならないことを理解しました。
- ◇ 私は、最善の結果を得るためにも担当医師の指示に従う必要があることを理解しています。
- ◇ 私は、新リビドラ治療法を受けるにあたり、以下のことが起こりうる事を理解しました。

- | | |
|--------------|---|
| ・ 疼痛 | ⇒ 注射時に認めることがある |
| ・ 出血、陰茎・皮下血腫 | ⇒ 抗血小板薬・抗凝固薬等内服により、長期間継続する可能性がある |
| ・ 持続勃起症 | ⇒ 100%の勃起が4時間以上持続する。投与量により生ずることがある |
| ・ 血流不全 | ⇒ 生ずることがある |
| ・ 局部硬結 | ⇒ 同じ部位に繰り返し注射を行うことで生じることがある |
| ・ 陰茎の肥大、彎曲 | ⇒ 高用量を繰り返し陰茎の同じ部位に注射することにより生じることがある |
| ・ 陰茎海綿体の線維化 | ⇒ 生じることがある。 |
| ・ 海綿体の潰瘍、壊死 | ⇒ 生じることがある。 |
| ・ 感染症 | ⇒ 起きることがある |
| ・ その他 | ⇒ 何かのトラブルが発生した結果、外科的手術、入院加療、休職、費用負担を余儀なくされることがある。 |

※ 上記リストは新リビドラ治療法により起こりうるトラブルを全て提示する事を目的としたものではありません。

上記の内容について患者に説明を行いました。

令和 年 月 日

あっとほーむクリニック

医師 藤井 学 印

私は、新リビドラ治療法について、その効果・特性・リスクについて説明を受け、内容を理解しました。その上で、この治療を受けることを希望し、ここに自費診療として申し込みます

令和 年 月 日

あっとほーむクリニック 院長殿

住所

氏名 _____ 印

新リビドラ治療法 (ICI: 陰茎海綿体注射) 承諾書

新リビドラ治療法 (以下、ICI) は、男性の勃起不全 (ED) に対し、血管拡張剤であるプロスタグランディンE1や塩酸パペリンを海綿体に注射する一般的な陰茎海綿体注射に対して、プロスタグランディンE1や塩酸パペリンを含めた数種類の薬剤を複合した特殊なカクテルとすることにより、これまでのICIでは最低でも2~3ccは必要であった注射液の量を平均0.15~0.6ccと非常に少ない量に押さえることにより、自己注射時の患者さんの負担を抑えつつ、高い有効率 (95~98%) を達成し、しかも症例毎に注射量の更なる微調整も可能という、これまでに無い画期的な陰茎海綿体注射治療です。

新リビドラ治療法では、医師により調合された液剤を、注射器によりペニスの根元から約2~4cm程度亀頭側で、背側1~2時または10~11時の方向付近で陰茎海綿体に自己注射を行います。この時、約3分程度注射部位を押さえ止血を行うとともに、薬剤が十分吸収されるようにマッサージを行います。2回目以降はできるだけ部位を変更します。他のED治療内服薬等との併用はおやめください。

抗血小板薬、抗凝固薬等を内服中の場合は、状態に応じて圧迫止血時間を延ばして頂きます。

新リビドラ治療法により、どのような効果が期待できるか、また期待できないかを予め知るとともに、新リビドラ治療法に関連する潜在的な危険性を予め確認しておくことが大切です。

新リビドラ治療法を受ける前に、以下の事項を熟読し確認してください。

- ◇ 私は、担当医師から新リビドラ治療法についての詳しい説明を受けました。
- ◇ 私は、より効果的な結果を得る為にも担当医師の方針に従って新リビドラ治療法を受けねばならないことを理解しました。
- ◇ 私は、最善の結果を得るためにも担当医師の指示に従う必要があることを理解しています。
- ◇ 私は、新リビドラ治療法を受けるにあたり、以下のことが起こりうる事を理解しました。

- | | |
|--------------|---|
| ・ 疼痛 | ⇒ 注射時に認めることがある |
| ・ 出血、陰茎・皮下血腫 | ⇒ 抗血小板薬・抗凝固薬等内服により、長期間継続する可能性がある |
| ・ 持続勃起症 | ⇒ 100%の勃起が4時間以上持続する。投与量により生ずることがある |
| ・ 血流不全 | ⇒ 生ずることがある |
| ・ 局部硬結 | ⇒ 同じ部位に繰り返し注射を行うことで生じることがある |
| ・ 陰茎の肥大、彎曲 | ⇒ 高用量を繰り返し陰茎の同じ部位に注射することにより生じることがある |
| ・ 陰茎海綿体の線維化 | ⇒ 生じることがある。 |
| ・ 海綿体の潰瘍、壊死 | ⇒ 生じることがある。 |
| ・ 感染症 | ⇒ 起きることがある |
| ・ その他 | ⇒ 何かのトラブルが発生した結果、外科的手術、入院加療、休職、費用負担を余儀なくされることがある。 |

※ 上記リストは新リビドラ治療法により起こりうるトラブルを全て提示する事を目的としたものではありません。

上記の内容について患者に説明を行いました。

令和 年 月 日

あっとほーむクリニック

医師 藤井 学 印

私は、新リビドラ治療法について、その効果・特性・リスクについて説明を受け、内容を理解しました。その上で、この治療を受けることを希望し、ここに自費診療として申し込みます

令和 年 月 日

あっとほーむクリニック 院長殿

住所

氏名 _____ 印

持続勃起症などの合併症を起こさないために注意すべきこと

1. 持続勃起症

100%の勃起状態が4時間以上持続することで、万が一発生した場合には、初診時にお配りした資料を基に処置を行って頂きます。持続勃起症を起こさない為に、以下の事項に注意して下さい。

- ① **推奨使用量を守る**こと（適量投与は数時間、勃起を持続させます）
- ② 説明されたプロトコルをよく読み、理解し、厳守すること
- ③ 持続勃起症が発生した場合には、緊急に持続勃起症の処置をすること
- ④ **4時間以上、完全勃起状態を放置しないでください。**

2. 陰茎血腫、皮下血腫等出血性合併症

抗血小板薬、抗凝固薬を内服中の場合、可能性が増大します。

3. 感染症

薬液の使用期限は、**冷蔵庫保存の状態**で**最高3ヶ月**です。古くなった薬液は決して使用しないで下さい。

感染予防のために、使用時には、必ず、まず石鹸で手を洗い、陰茎の**注射部位はアルコール綿で丁寧に消毒**を行った後、注入を行って下さい。

また、一度使用した注射器は決して再使用しないようお願いいたします。（再使用が判明した場合、以後の処方が出来なくなることがありますので、くれぐれも御注意ください。）

4. 局部硬結（線維化）

同じ部位に繰り返し注射を行った時、大用量注射時に生じることがあります。

また、**注射部位の圧迫が短いと、薬液が皮下に漏れ、陰茎の線維化を生じることがあります。**

陰茎の圧迫は最低でも2分間、可能であれば3～4分は心がけて下さい。また、毎回注入部位も変更して下さい。

皮下の血管を刺した場合は、更に2分間 刺入部位を圧迫して下さい。

皮下出血が見られた場合でも、通常1週間程度で吸収されますので心配ありません。

5. 陰茎の肥大、彎曲

主として、高用量を繰り返し陰茎基部の**同じ部位に注入**することによって起こります。

- ① 注射する側、及び注射部位を**毎回変更して行ってください。**
- ② 注射後2分以上（抗血小板・凝固薬内服時はそれ以上）注射部位を押さえて下さい。
- ③ **薬液が均一に分布するまで陰茎をよくマッサージして下さい。**

これらの注意をよくお読み頂き、くれぐれも用法用量をお守りの上、治療を行ってください。夜間等、当院にて対応が出来ない時間帯の場合は、出来るだけ早急に泌尿器科に受診の上、瀉血、エホチールの陰茎海綿体局注などの処置を行ってもらってください。

持続勃起症が発生した場合

新リビドラ治療法は、非常に安全性の高い治療法で、指示された方法を守って使用して頂ければ、問題が起こることは殆どありません。

多くは自己判断で量を増やしたり、注射位置を変えなかったり、また注射部位の圧迫が不足した場合などに起こりますので、これらは予防可能です。

もし疑問に思うことがある場合には、決して遠慮せずに早めにご相談ください。

持続勃起症 … 陰茎の勃起が4～6時間以上も持続する状態

注入量は慎重に決定いたしますので、持続勃起症が生じることは非常にまれです。

ほとんどの場合は、自己判断で量を増やした場合に起こります。このような状態が起こった場合には、

早めにご連絡、又は最寄の泌尿器科を受診してください。

放置すると陰茎組織の破壊が起こり、その後勃起不全が増悪することが知られていますので、十分に御注意ください。

持続勃起症が生じた場合、以下の手順に従って処置してください。

- (1) アイスパックで陰茎をはさみ、20分間冷却する。
- (2) 15分間熱いシャワーを浴びる
- (3) エホチールを0.4cc陰茎海綿体に注入し、5分間圧迫する(止血のため)。
- (4) 効果が見られない場合は、10分経過してから、もう一回繰り返すか、又は、最寄りの泌尿器科、救急外来を受診して下さい。

★ エホチールを陰茎海綿体に注射した後の圧迫止血の方法 ★

陰茎全体を包み込むように手掌全体で陰茎を掴み、血液が亀頭側から陰茎基部に向かうようなイメージで圧迫してください

これらの処置で改善が見られない場合は、至急ご連絡ください。

当院開設時間外の場合、出来るだけ早急に最寄の泌尿器科を受診してください。